

事務事業名		防火防犯一般業務			会計	一般会計			
H27担当課等名		危機管理室		H27係等名	交通安全係		H26係等名	交通安全係	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
		施策	43	地域安全の推進					
目的	対象(誰・何を)	各地区まちづくり委員会等防火防犯部門担当者			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	各地区まちづくり委員会等防火防犯部門の活動を通して防火及び地域安全(防犯)の意識の高揚を図る				1地区20名		20	
	向上させたい上位施策の成果指標	犯罪発生件数							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	活動延べ回数			240	240	220	220	
	定性目標								
事業概要	飯田市防火防犯委員会が解散したことから、各地区まちづくり委員会等の防火防犯部門の活動に対して公的な助成を行うことにより、地域の防火防犯活動を活性化させるものである。								
26年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 地域安全(防犯)対策事業 (防犯パトロール・防犯診断活動・街頭啓発活動)				1 パトロール等回数		1 4回		
	2 防火対策事業 (防火広報・消防団への協力・火災現場での消防活動支援)				2 防火広報等回数		2 4回		
	3 市民への防火防犯に対する教育啓発の実施				3 教育啓発回数		3 4回		
	4 活動用装備品等の整備充実事業 (パトロール時や夜間活動の装備品の整備充実)				4 装備品点数		4 10点		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		242	250	225	221	(そ)財産収入			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		111	111	111	111				
一般財源		131	139	114	110				
人件費計(千円)②		358		358					
正規職員所要時間		100		100					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		600	250	583	221				
事業内容・目標達成状況の振り返り	青パト従事員を増やすことにより、パトロール回数を増やすことができた。								
改革改善の考え方	①問題点	・特殊詐欺被害が大きく増加した。飯田・下伊那地区特殊詐欺撲滅会議を通じ、警察、行政、まちづくり委員会、金融機関等の連携、情報共有等を行っていく必要がある。							
	②改革提案	・高齢者ばかりでなく、あらゆる機関での啓発活動や講習で、家族の合言葉を作るなど具体的な講習を実施していく。 ・警察署、金融機関、関係団体や各種ボランティア団体と被害防止のための広報、啓発活動や情報提供を行っていく。							